新宿区長選挙選挙公報

新宿区選挙管理委員会

しがらみゼロで、区政を変える



無所属
大門さちえ
だいもん

❶ 民泊規制

民泊の適正運営を徹底し、苦情対応と是正の実効性を検証します。
９年前、民泊条例が初めて制定されました。当時、マンションや店舗が混在する住居地域への規制拡大や学校周辺での禁止を求める区民意見や陳情があったにもかかわらず、規制は住居専用地域の平日に限られた。
現在、全国の約1/10にあたる約3,900件の届出民泊が新宿区に集中し、昨年度の苦情・相談は1,334件に。なぜ当初から他区並みの厳しい条例にできなかったのか。
民泊条例を抜本的に見直し、住居地域や文教地区、学校周辺での営業を原則禁止します。

❷ 路上喫煙過料

新宿区では、すでにポイ捨てや路上喫煙を条例で禁止していますが、そのルールが十分に浸透しているとはいえません。
条例は作るだけでなく、実効性が重要です。
違反者への過料制度を導入し、ルールを守る意識を高め、誰もが気持ちよく過ごせる、きれいな新宿を目指します。

❸ 環境改善

繁華街の騒音・迷惑行為に関係機関と連携して対応します。

❹ 女性の安心

ジェンダーレストイレに反対し、女子トイレの個室を増設します。
女性の安心・安全を守ります。

❺ 観光負担

観光・事業活動に伴う清掃・ゴミ処理・警備などの行政コストの負担のあり方を検討します。

❻ 事業の可視化

事業ごとに「目的・費用・成果」を見える化します。
「区民の暮らしがどう改善したのか」という結果を重視します。

❼ 子育て支援

病児保育・学童クラブなどの「制度はあるのに使いにくい」「必要なときに利用できない」を解消します。
修学旅行の無償化を実現します。

❽ 退職金見直し

1期4年ごとに約2,000万円の区長退職金制度を見直し！ 4期で約8,000万円、5期で約1億円にもなる区長退職金を改革！
現行制度では、再選されて区長を続ける場合でも、任期ごとに約2,000万円が支給されます。
累計支給額に5,000万円の上限を設け、退職金は最終退任時に一括支給する制度へ改めます。
私自身の退職金は全額ゼロとする条例改正を目指します。

大門さちえ プロフィール

税理士・行政書士
昭和44年生まれ
昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校
昭和女子大学文学部英米文学科卒業
早稲田大学大学院商学研究科修了
KPMG税理士法人勤務　国内・国際税務担当
神楽坂に税理士・行政書士事務所開業
前新宿区議会議員・元東京都議会議員

X(旧Twitter)　YouTube

政策ショート動画を続々配信中！
ぜひフォローしてください

区民と共に創造する新宿の未来！



吉住健一
よしずみけんいち
54歳

推薦政党・団体
自由民主党・公明党・連合東京

推薦人
前新宿区長　中山弘子
新宿の未来を創る区民の会
会長　遠藤直哉(弁護士)

吉住健一さんは、区民との対話を重視し、毎年１５回以上の対話集会を開催しています。
地域を熟知し、関係機関に協力を呼び掛け、様々な課題に対処してきました。
私たちは、新宿の未来を吉住健一さんに託します！

プロフィール
1972年新宿区大久保生まれ
伸びる会幼、大久保小
戸山中、都立広尾高
日本大学法学部卒
与謝野馨秘書、新宿区議
東京都議、新宿区長

ホームページ　Facebook　X(旧Twitter)

新宿区長の吉住健一です。新宿を愛着の持てるまちにしたい。新宿の良いところを伸ばしていきたい。トラブルの現場も、部下だけに任せず、自分自身も現場に赴いて解決策を探してきました。
今までも、これからも、生まれ育った新宿のまちに誇りを持てるよう、住み続けられるよう全力を尽くします！

吉住健一の３つの基本方策

安全な新宿
1 **防犯対策の強化**（防犯カメラ増設、歌舞伎町対策）
2 **防災対策の推進**（感震ブレーカー、止水板等の購入補助拡充）

安心な新宿
1 **少子化対策**（不妊治療への支援、産後ケアの充実）
2 **高齢者支援**（おひとり様サポート事業を開始）
3 **清潔なまち**（ポイ捨て禁止条例を改正し過料徴収開始）

元気な新宿
1 **新宿ブランドの確立**（自動車のご当地ナンバー、新宿キャラ）
2 **飲食店応援**（食品の消費税減税による飲食店のダメージ低減）
3 **区立公園のルール見直し**（花火やボール遊び、ドッグラン増設）

（この選挙公報は、新宿区議会議員選挙及び新宿区長選挙における選挙公報の発行に関する条例第４条第１項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版のうえ掲載したものです。）

新宿区長選挙選挙公報

新宿区選挙管理委員会

日本のために
新宿区ができることをやりましょう

× 浪費　○ 消費　◎ 投資

事業を見直し、費用を捻出。**20億円以上**を投資します。
※一般会計予算の1%強

税金は、社会を支える大企業や余裕のある富裕層の方々から多くのご負担をいただき、困っている人を助けるために使うもの。
まずは**予算を見直し**て、それを実現します。

「浪費をやめ、投資する」4つの重点投資ポイント

1 外国人と仲良く
比率14%以上
日本語・日本文化
日本の法律を教育



2 遊べる新宿
歌舞伎町飲食・エンタメ産業
繁華街の飲食
エンタメ産業へ協力



3 学べる新宿
新宿は学舎
日本の未来を担う
学生の生活を応援



4 住みやすい環境
都心にもオアシスを
再開発の見直し
区役所建替再検討



1.外国人の方に地域の方々と共に日本のルールを守って生活していただき、仲良く暮らせる施策を行います。「多文化共生を許容し我慢する」のではなく、日本社会の一員になっていただく考えです。
2.繁華街は、求心力ある歌舞伎町などのカルチャーを守りつつ、清潔で快適、安全な街づくりをお手伝い。
3.70校近く、数万名の学生が集まる新宿。私が学生さんの就職活動を40年近くお手伝いしてきた経験の中で学舎新宿で学び、できれば卒業後はそれぞれの地元の為に活躍していただきたいという想いがあります。
4.環境面では、家賃高騰を抑えるために、区役所の建替問題や再開発を見直して、再検討します。夏のヒートアイランド対策として、木や設備によって日陰と雨よけの確保、ベンチ、給水機、トイレ、ゴミ箱の整備を行い、お年寄りや子どもたち、地域猫の見守りを通じて、人にやさしい街づくりを推進します。



山片けんいち
やまがた
無所属

プロフィール
1966年12月生まれ、59歳、山口県出身、西南学院大学卒、いて座、O型、新宿区議会研究所 代表。米国留学を経て株式会社リクルートに新卒入社。ベンチャー企業取締役を経て1999年起業。趣味は旅、ダイビング、スキー、登山、釣り、バイクなどアウトドア。
創業経営者、会社経営歴30年、新宿区在住19年。

ホームページ　選挙ドットコム

暮らせる新宿。もっと豊かに

5年間、新宿のみなさんの声をたくさん聴いてきました。

苦しくても自分でなんとかしろという「自己責任論」、若者が苦しいのは高齢者のせい、外国人のせいという「分断」が政治によって広げられています。分断でなく、みんなで政治を変えて、だれもが暮らしやすい新宿をつくりたい。区民の声で区政を変える、新宿から日本を変える、この思いで立候補を決意しました。ご一緒に新しい新宿をつくりましょう。

プロフィール 30歳。早稲田大学国際教養学部卒。アメリカに留学。区内の旅行会社勤務ののち日本共産党の職員に。26年総選挙で東京１区から立候補

応援します
元日本弁護士連合会会長
宇都宮健児
日本共産党参議員議員
山添　拓
社会民主党東京都連代表
青山秀雄

日本共産党 推薦
社会民主党 支持

1 住みやすい新宿へ
●タワマン建設より家賃に補助を
●区営住宅を増設　●民泊の規制強化

2 物価高からくらしを守る区政へ
●区役所建て替えより学校改修を急ぐ
●小中学校の学用品・修学旅行費の無償化
●年金で入れる介護施設
●シルバーパスは一律 1000 円に
●ケア労働者・中小企業の賃上げ支援

3 公共サービスもっと充実
●コミュニティバスの運行
●駐輪場を増設・ラック幅を広げる
●繁華街のゴミ箱を増やす

4 若い世代の声が届く区政に
●若い世代担当の副区長　●奨学金返済支援
●多様な人が学ぶ夜間中学を設置

5 憲法・人権・平和を守る
●性搾取から女性を守る人権センター設置
●パートナーシップ・ファミリーシップ条例
●多文化共生・新宿平和フォーラム実施

財源どうする?
●積立金621億円の一部を活用
●500億円以上かかる区役所建て替えを急がない
●1棟30～50億円のタワマン建設への補助金を見直す
●区長の4年ごとの退職金(2200万円)は廃止



黒田あさひ
くろだ
無所属

（この選挙公報は、新宿区議会議員選挙及び新宿区長選挙における選挙公報の発行に関する条例第４条第１項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版のうえ掲載したものです。）